

概要

- 緑内障進行の**早期予測手法**の提案
- **問題の難しさ**：①患者ごとに異なる測定回数, ②初診時での病状の重さの違い, ③測定に対する学習効果

提案手法

- **空間特徴**と**進行特徴**に対する2段階のクラスタリング
- 予測対象との関連性が強いものの抽出して予測用データに加える
- 高々**1,2回**の測定で高い予測精度を実現

